禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D1

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
３級 園芸装飾 学科試験問題
（室内園芸装飾作業）

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
   イ.　一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
   ロ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
   ハ.　答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　切り出しナイフは、太い枝を切り落とす際に使用する。

2　直径が1cm未満の和物鉢における徒長枝の手入れには、通常、木鋏（ばさみ）を使用する。

3　インドアガーデンの装飾砂利は、最初に敷く方がよい。

4　内幅が16cmのスクリーンプランターには、7号鉢を入れることができない。

5　ソメイヨシノは、中国原産の植物である。

6　アレカヤシは、トピアリーに適している。

7　ハイドロカルチャーは、ピートモスを使用した栽培方法である。

8　エクメア・ファッシアータにおける個々の花の寿命は、数日である。

9　グリーンサービス業において、和物と呼ばれている植物には、耐寒性があるものが多い。

10　鉢カバーは、そこに入れる植物の装飾性を高める効果がある。

11　ユッカは、湿地帯に原生する。

12　日本で最も長寿の樹木は、スギである。

13　チューリップは、毎年、母球が消耗して新球ができる。

14　枝やツルに互い違いに葉がつくのを、対生という。

15　ツバキは、照葉樹である。

16　ウメは、マメ科の植物である。

17　ポトスは、サツマイモの一種である。

18　根詰まりした鉢植え植物は、植え替え又は鉢替えを行う。

19　高取り法における環状剥皮は、形成層を含む樹皮を、完全に除去しなければならない。

20　挿し木繁殖の方法として、密閉挿し法がある。

21　シュロチクを栽培する場合は、通常、遮光しない。

22　夏の昼間の強光下にある植物には、葉水を行ってはならない。

23　草花の鉢栽培には、単独の土を用いることは少なく、配合した土を用いることが多い。

24　鹿沼土は、挿し木に適している。

25　窒素、リン酸及びカリのうち、二つ以上の要素を含ませて造粒した化学肥料を、化成肥料という。

26　生育途中に与える肥料を、追肥という。

27　テントウムシは、アオムシの天敵である。

28　ハダニ類は、人にも寄生する。

29　ガラス温室は、一般に、日光が遮断されて植物が日焼けしない。

30　殺虫剤の散布ではマスクを使用するが、除草剤の散布ではマスクを使用しない。